

令和5年度「第9回東日本連携・創生フォーラム」議事録

<日時/場所>

令和5年10月26日(木) 14:00~16:00/パレスホテル大宮 4F ローズルーム

「1.開会」

さいたま市/清水市長

皆さんこんにちは。さいたま市長の清水勇人でございます。「第9回東日本連携・創生フォーラム」の開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、各自治体をはじめ、関係機関の皆様方には、ご多用の折、本フォーラムに参加をいただきまして、厚く御礼を申し上げます。

今回のフォーラムも、昨年度に引き続き、オンラインを活用したハイブリッド形式での開催となりましたが、デジタル化の推進により、空間的な距離の概念が大きく変わり、地域間の垣根がますます低くなってきているということを実感しております。

他方で、来年4月からトラックドライバーの働き方改革により生じます、いわゆる「2024年問題」によりまして、物流の停滞が懸念されておりますが、デジタル化が進んでも、人やモノの流れが重要であることに変わりがないのだろうと思います。このような中、8月30日に北陸新幹線の金沢~敦賀間の運行計画が発表されましたが、来年2024年3月16日より、東京から福井までが最速2時間51分、大宮から福井までは2時間半以内でつながることになります。

これにより、北陸地方と東日本、北日本地域との交流が進み、関係性が今まで以上に強くなると考えておりますが、「2024年問題」も踏まえれば、来年は日本国内の人とモノの流れが大きく変わる1年になるのではないかと見ております。このようなタイミングで、観光や食材の流通に関して話し合えるのは大変良い機会ではないかと考えております。

また、本日は東日本の自治体が一同に会するせっかくの機会でもございます。議題に限らず、広範な行政課題について意見交換をさせていただくことが東日本地域全体の活性化、また、地方創生につながると考えておりますので、皆様におかれましては、忌憚のない意見交換を重ねていただきますようお願い申し上げます。甚だ簡単ではございますが、私からのご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

「2.出席者挨拶」

小松市/宮橋市長

ご紹介いただきました石川県小松市長の宮橋と申します。本日は東日本連携・創生フォーラムに参加させていただくことになりまして、本当にありがとうございます。

当市は世界的な建機メーカーコマツの創業の地であります。また、日本海側唯一の戦闘機部隊を持つ航空自衛隊小松基地が所在し、ここには民間との共用の小松空港もございます。小松空港は北陸・日本海側では最大の旅客数を誇る空港でございます。

また、先程来お話がありましたが、来年3月16日には北陸新幹線が金沢から敦賀まで延伸されることに伴い、小松駅も新たに開業することになります。その小松駅と小松空港はわずか4.4キロということで、非常に近い位置にありまして、これから小松市としては、レールアンドフライトの取組によって、全国の各地の皆さんとより親密に連携を深めさせていただければと思っております。

今年の7月に仙台の東北楽天イーグルスの試合で1日協賛デーをさせていただいて、仙台でも新幹線開業ということをお誘いをいただきまして、その帰りに大宮区役所に寄らせていただいた際に、今回の東日本連携についてお誘いをいただきまして、これから参加させていただくことになります。この新幹線開業ということ、小松駅開業ということ

契機として、より一層東日本の皆さんと連携を深めながら、それぞれの地域がお互いに発展していけるよう取り組んでまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

小樽市／渡部部長

ただいまご紹介いただきました、北海道小樽市産業港湾部長の渡部でございます。今年度よりさいたま市様からお声がけいただき、東日本連携・創生フォーラムに参加させていただくこととなりました。本来であれば、市長が参加する予定でありましたが、他の公務のため、私が代理出席させていただきます。

小樽市は、北海道西海岸のほぼ中央、後志地方の東側に位置し、札幌市などに隣接し、小樽港、石狩湾新港という二つの重要港湾を擁するとともに、小樽運河や歴史的建造物など多様な観光資源に恵まれた観光都市でございます。

現在本市では 2030 年度の北海道新幹線新函館北斗～札幌間の開通を見据えて、新たに建設する新駅周辺のまちづくりや利用促進に向けた取組などを進めております。関東、東北、北海道を結ぶ新幹線の開通は観光をはじめとする新たな交流の創出、地域の活性化につながりますので、皆様との情報交換や連携事業への参加に大変期待しているところでございます。また、令和 6 年度から小樽産品の販路拡大を図るため、まるまるひがしにほんの活用も検討しておりますので、今後、さいたま市様にご協力をお願いしたいと考えています。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

函館市／大泉市長

函館市長の大泉でございます。本日は東日本連携・創生フォーラムに参加することができて大変光栄であります。

日頃から、このフォーラムにおきましては、函館市が大変お世話になっております。物産それから観光、様々このフォーラムの連携していただいている自治体の皆様とご協力をいただきながら、当市といたしましても取組を進めているところであります。改めまして、清水市長のリーダーシップに深く感謝を申し上げたいと思います。

函館は陸海空という交通の利便性が高く、年間 500 万人程度の観光客が訪れる観光都市でございます。その他様々な物産の魅力もあるまちでございますので、この東日本連携の仕組みをぜひ活用させていただいて発展をしまいたいと考えております。また、新幹線のことを自己紹介で結構出ていますが、新函館北斗駅までしか来ていない新幹線でございますが、これを函館駅に乗り入れることができないか、その可能性について研究をしているところであります。その調査を今年から始めたところであります。

今年度中にその結果が出ますので、その結果を踏まえて様々議論をし、また活動していきたいと思っておりますので、その際には連携している自治体の皆様とも情報共有をして、様々な連携をさせていただければと思います。東日本の可能性にわくわくしております。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

会津若松市／室井市長

皆さんこんにちは。会津若松市長の室井でございます。日頃よりさいたま市様はじめ、フォーラム構成自治体関係団体の皆様には、東日本エリアの発展に多大なるご尽力をいただいております。厚く御礼申し上げます。本日は皆様方との情報交換、そして意見交換を大変楽しみにしてまいりました。

一つ PR をさせていただきたいと思っております。来月 11 月 9 日（木）から 12 日（日）までの期間、埼玉県越谷市のイオンレイクタウンにおいて、イオン様との「桜咲く会津フェスタ 2023」を開催させていただきます。会津地域の 17 市町村が誇る食、漆器、民芸品、お酒も盛大に販売したいと思いますので、ぜひお越しいただければと PR をさせていただきました。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

みなかみ町／阿部町長

皆さんこんにちは。水と森と人を育む利根川源流の町、みなかみ町長の阿部賢一です。今日はどうぞよろしくお願いいたします。

みなかみ町は自然豊富で、ユネスコエコパークにも登録をされております。やはり自然との共生をスローガンに、まち

づくりを今進めているところであります。その反面、上毛高原駅ということで今日清水市長のさいたま市まで役場を出て、1時間もかからないでここへ到着するような地の利もございます。また、在来線あり、インターチェンジありということで、非常に地の利を生かしたまちづくりを今進めているところです。山あり谷あり、アウトドアスポーツも盛んであり、温泉もあり、食もよしということで、ぜひさいたま市の皆さん、また、東日本の交流都市の皆さんにおかれましても、ぜひ一度足を運んで温泉で疲れを癒やしていただければと思っております。これから雪のシーズンで、スキー場も6つあります。ぜひアウトドア、ウィンタースポーツを楽しみながら、そして、雪に囲まれたダム景色も大変人気を集めております。今紅葉シーズンでありますけども、ダムの大小を含めて7つ、やはり水源の町でありますので設置がされております。ぜひ皆様方のお越しをお待ちしております。今日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

青森市／堀所長

青森市東京事務所東京ビジネスセンター所長の堀でございます。本日あいにく青森市西市長が日程の都合で参加できなかったので代わりに代理出席させていただいております。東日本連携に向けて、本日いろんな自治体の皆様と情報交換させていただければと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

新潟市／関川部長

皆様こんにちは。新潟市の観光・国際交流部の関川と申します。本来であれば市長が参りまして出席をさせていただくところでございますが、本日公務の都合で私が代理として出席をさせていただいております。どうぞよろしくお願いいたします。本市におきましては2025年の完成を目標に駅の高架化、駅前広場の整備など、新潟駅周辺整備事業をリニューアルしているところがございます。また、来年には佐渡ヶ島の金山、世界遺産登録が期待されておりまして、佐渡の玄関口ともいえる本市への国内外からの多くの観光客の来訪が見込まれているところがございます。

これらは本市のみならず東日本地域での交流人口の拡大、地域活性化にもつながるものと考えておりますので、今後とも皆様との交流連携を重ねながら、東日本連携事業に取り組んでまいりたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

福井市／東村市長

こんにちは。福井市長の東村でございます。本日は東日本連携・創生フォーラムに参加させていただき感謝申し上げます。北陸新幹線福井開業日が3月16日と発表され、開業まで半年を切る中、本市では開業に向けた機運が日に日に高まってきております。今月の10月1日には、多くの市民の皆様と一緒に新幹線車両の入線をお祝いするセレモニーを開催したほか、開業に向けては福井駅周辺に恐竜王国福井を印象づける恐竜モニュメントをさらに増やすなど、皆様をお迎えする準備を進めております。

開業後ますます皆様と近くなる福井へぜひお越しいただければと思います。最後になりますが、当フォーラムの関係都市の皆様と連携した事業を展開することで、交流人口の拡大、地域活性化につながることを期待しております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

盛岡市／藤谷課長

盛岡市交流推進部観光課長の藤谷でございます。本日は内館市長が出席させていただく予定でございましたが、あいにく他の業務がございまして代理で出席させていただいております。

今年1月にニューヨーク・タイムズ紙で、「2023年に行くべき52ヶ所」にロンドンに次いで2番目に選出されたということを契機としまして、8月には本市として初めてニューヨークにおいて盛岡さんさ踊りとわんこそばを派遣し、現地でプロモーションを行ったほか、9月末には岩手県と連携して「わんこそば世界選手権」を開催し、多くの方に盛岡岩手の魅力をPRしたところがございます。

今後も「歩いて楽しむまち盛岡」をキーワードに本市の魅力を PR し、誘客につなげる取組を継続していくこととしております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

福島市／小松室長

皆さんこんにちは。福島市観光交流推進室の小松でございます。

我々は果物王国というところで桃が有名ですが、これからはリンゴの季節になるのかなというところでございます。今年の猛暑で我々はグロッキー状態ではありましたが、桃の方は糖度が高く、キロ平均単価が 13 円ほど高くなりまして、売上が相当伸びたという状況でございます。私どもの方でインバウンドに当然今力入っていますが、先週末から今週の初めにかけて台湾でプロモーションを行ってきたところでございます。

明るい話題といたしましては、昨年もご紹介申し上げた、福島市を拠点にしているエアレースパイロット室屋義秀選手がいらっしゃるのですが、今回から新しく「エアレース X」というレースが始まりまして、そちらで見事世界一といった成績を収めていただいたところです。あと空関係でいきますと、これも昨年ご紹介申し上げましたが、「UFO フェスティバル」というちょっと変わったイベントも行っておりますので、近くにお寄りの際は顔を出していただけるとありがたいです。これからも皆様と連携の方をさせていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

小山市／岸係長

皆さんこんにちは。栃木県の小山市です。小山市では秋のイベントが今後目白押しとなっております。ご紹介しますと、小山市の農畜産物をご紹介します農業祭がまず行われます。その後、ユネスコ無形文化遺産登録をされました、結城紬を紹介する着物の日。また、バルーンフェスタやクラフトビール祭など、毎週末様々なところでイベントを開催する予定となっております。なかなか栃木県に足を運んでいただけないかもしれませんが、ぜひお近くにお寄りの際はお越しいただければと思います。本日はよろしくお願いいたします。

那須塩原市／織田部長

皆様こんにちは。栃木県那須塩原市産業観光部長の織田と申します。本来であれば市長が出席するところではございますが、スケジュールが整いませんでしたので、私が代理出席させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。新型コロナウイルス感染症の位置付けも 5 類感染症となって、全国各地で徐々に賑わいを取り戻しているということですが、本市におきましても、塩原温泉など各地で紅葉が見ごろの時期を迎えております。そして、多くの観光客の皆様にお越しいただいているという今は嬉しいような状況でございます。

また、来月 18 日土曜日には第 4 回目となります「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」を開催いたしますが、現在までに全国から 240 名を超える方の参加応募をいただいております。昨年度は遠く長崎県から、そして今年度は北海道からと遠路にも関わらずご応募いただいております。感謝申し上げます。また、本市は 2021 年から 2 年連続で、オランダの国際認証団体でありますグリーンデスティネーションズから「世界の持続可能な観光地 TOP100 選」に選ばれており、さらには生乳産出額全国 2 位の自治体でもありますので、今後もその強みを生かしながら、充実した観光施策を展開してまいります。

この東日本連携・創生フォーラムにおきましても、多くの自治体の皆様と連携、そして情報交換をしてまいりたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

三条市／加藤室長

皆さんこんにちは。新潟県三条市営業戦略室長の加藤と申します。本来であれば市長の滝沢が出席させていただくところでございますが、公務のため欠席となりまして、代理出席をさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

本市はものづくりが盛んな地域でございます。本日から 4 日間「燕三条工場の祭典 2023」が開催されております。

普段は見るることができない工場の中を、この時期だけ見ることができる人気のイベントとなっております。ぜひ皆様にお越しいただきたいと思っております。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

魚沼市／櫻井副市長

皆さん、こんにちは。人と四季が輝く雪のくに魚沼市副市長の櫻井雅人と申します。本来ですと、市長が参加させていただくところですが、スケジュールが整いませんでしたので、私の方が代理で出席させていただいてごめいす。

魚沼市は新潟県南東部に位置し冬は2m以上の積雪がある日本有数の豪雪地帯でございます。魚沼産コシヒカリに代表される豊富な食や自然に囲まれる魚沼の名勝は、国内でも高い認知度がございます。来年度、市制施行20周年に合わせて、市内の小出インターチェンジを魚沼の名を冠した「魚沼インターチェンジ」に改称することとして、現在NEXCO東日本と協議を進めているところでございます。

当市では、この市制施行20周年と魚沼インターチェンジへの改称を契機として、多くの皆様からおいでいただけるよう、誘客のための企画を検討しているところでございます。また、福島県の会津若松市さんと魚沼市を結んでいるJR只見線は、「紅葉の美しい鉄道路線ベストテン」で第1位、海外でも世界で最もロマンチックな鉄道として取り上げられるなど、国内外で景観美が高く評価されているローカル線でございます。本年10月1日をもって全線復旧から丸1年が経過しましたが、現在も多くの乗客の方が風光明媚なこの鉄道を楽しんでおられます。

JR只見線をはじめとする地方ローカル路線は、東日本連携全体の周遊観光の促進や交流人口の拡大に大きく寄与するものと考えており、当市といたしましてもJR只見線を活用した観光誘客や地域振興に取り組んでまいりたいと考えてございます。引き続き東日本連携・創生フォーラムの皆様方との連携を深めつつ、地域の発展につなげてまいりたいと思ひます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

南魚沼市／岡村副市長

こんにちは、南魚沼市でございます。市長が出張のため参加することができません。ご容赦をいただき、副市長の岡村でございますが、よろしくお願ひをいたします。

本日は「第9回東日本連携・創生フォーラム」の開催、誠にありがとうございます。フォーラムを通じてさらに地域資源を活用し、広域連携によるインバウンドなど、観光交流の向上を期待するところでございます。

さて、当市では新米の収穫時期を終えて、南魚沼産コシヒカリをさらにアピールをする「本気丼（まじどん）」キャンペーンを実施しております。連日たくさんの方にお越しをいただき、味わっていただいておりますが、ぜひ皆様方もご賞味いただければと存じます。お越しを心からお待ちを申し上げます。以上でございます。ありがとうございました。

氷見市／篠田副市長

こんにちは、富山県氷見市の篠田と申します。今回もお声がけいただきましてありがとうございます。

富山県氷見市は、海越しの立山連峰が美しい富山湾に面した観光都市でありまして、ポストコロナでだいぶ観光客も戻ってまいりました。この秋も氷見もやっぱり同様にイベントが目白押しでありまして、食のまち氷見らしい魚介や氷見牛などの地元の美味しいものが盛りだくさんの「ひみ食彩まつり」というものが、今度の日曜日に行われるところでありす。

東日本の連携を大いに望むところでありまして、今日はいろいろな刺激をいただければと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

南砺市／吉田参事

皆さんこんにちは。富山県南砺市役所交流観光まちづくり課吉田と申します。本日はよろしくお願いいたします。本日

本来であれば田中市長が参加させていただくところですが、あいにく公務のため欠席させていただきます。市長の方からは皆様にくれぐれもよろしくお伝えするようということで仰せつかっております。

当市は合掌造りの世界遺産を有しております、そちらを主に国内外に発信している市でございます。先ほどから皆様ありましたように来年3月の北陸新幹線敦賀延伸ということで、私どもも関西方面へのPRということも進めていきたいというふうに思っております、9月から福井市さんをはじめ大阪といったところでプロモーション活動を進めております。また、最近のトピックスで言いますと、これも昨年もやらせていただいておりますが、米国サンフランシスコの方に本日ご参加されております氷見市さん、石川県小松市さん、高岡市さん、そして岐阜県飛騨市さんとともに「クラフトバレーフェア」ということで、米国の方でのPRもさせていただいております。こういったことを含めてPRをさせていただきたいと思っております。また、東日本の皆様に連携をさせていただくことがあればいいのかなというふうにも思っておりますのでよろしくお願ひします。また、本日この会合の開催にあたりまして、さいたま市さんをはじめ関係の皆さんのご尽力に大変感謝申し上げます。以上であります。よろしくお願いいたします。

長野市／中村部長

長野市商工観光部長の中村です。本日は本フォーラムに参加させていただきまして誠にありがとうございます。

長野市は1400年の歴史を持つ善光寺、神話の時代から聖地として親しまれております戸隠神社、そして戦国時代の武将である真田家が250年に渡り治めました真田十萬石の城下町「松代」や、上杉謙信と武田信玄の戦いで有名な川中島の合戦など、神と仏とものふのまちとして数多くの歴史的文化的遺産があり、美味しい蕎麦や果樹、野菜など豊かな農産物もあることから、観光客の皆様にも古くから愛されております。

特に来年3月の北陸新幹線の敦賀延伸は、関西圏からの観光客の入り込みも期待されますので、現在当市では、観光地におけるDXやe-bikeをはじめとした体験型の観光資源の充実というものを進めております。今後は、この東日本連携・創生フォーラムの参加自治体の皆様と一体となった取組によりまして、地域経済の活性化や観光情報の発信などを進めてまいりたいと考えておりますので、本日はよろしくお願いいたします。

上田市／小林部長

長野県上田市の文化スポーツ観光部長の小林でございます。あいにく市長が広域連合の議会と重なりまして出席が叶いませんでしたので、市長に代わりまして私が出席させていただいております。日頃からさいたま市の皆様におかれましては、東日本連携事業の推進にご尽力いただいておりますこと、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

さて、私どもの上田市は、北陸新幹線沿線の周辺を美しい山々に囲まれた自然豊かなまちで、戦国武将の真田幸村に代表される真田氏ゆかりの地として知られているところでございます。新型コロナウイルス感染症の分類が5類に移行されてから初めて秋の観光シーズンを迎え、市内には紅葉狩りをはじめ、温泉や秋の味覚などを求めるお客様にお越しいただき、観光需要は順調に回復傾向にございます。特にこれからのイベントとしましては、11月3日から5日まで、「第17回上田城紅葉まつり」が、11月5日には紅葉まつりに合わせまして、「第41回上田真田まつり」が上田城跡公園及び中心市街地で開催されます。多くの皆様にお越しいただければと考えております。

今後につきましても、東日本連携に参加されている皆様とは、様々な形で連携を図り、地域の活性化に向けて一緒になって取り組んでまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。以上でございます。

「3.議題」

議題(1) ワーキンググループの設置について

さいたま市／清水市長

はじめに、議題(1)「ワーキンググループの設置」について、私から説明をさせていただきたいと思ひます。

観光部門ではこれまで、テーマや目標を決めて連携事業の検討を進める場合、全ての連携自治体の皆様に意見を伺いながら進めてまいりましたが、それぞれの都市で課題等が異なるため、全ての都市が同じ方向を向いて事業を進めることが難しいところもございました。

そこで、令和4年度に会津若松市様から、各都市で課題となっているテーマや進めてみたいテーマなどを募集し、同じ思いを持っている都市とワーキンググループを作って進めていくことが良いのではないかと、とのご提案をいただいたところでございます。そこで事務局の本市から各都市へ照会したところ、3つのテーマを出していただきました。この3つのテーマごとに参加都市を確認して、現在テーマごとにリーダーを決めて進めているところでございます。今後は通年でグループごとに活動して、成果については来年度のフォーラムで報告をするという予定でございます。

この3つのワーキンググループにつきまして、1つ目のテーマは「インバウンド」でございます。6都市が参加をして、内容は今後共通するターゲット国を見据えて、各市の取組やコンテンツ等の情報共有を深めた上で、広域連携によりますインバウンド誘客の取組を検討していくこととしております。会津若松様がリーダーとなって活動していただく予定でございます。

続きまして、2つ目のテーマは「SNS 連携・活用」でございます。このテーマでは10都市が参加をしまして、内容は自治体同士のSNS連携を行うことや、SNS活用のノウハウをともに研究し活用につなげていくこととしております。南魚沼市様がリーダーとなり、活動していただく予定でございます。

そして3つ目のテーマは「スポーツ」でございます。これについては3都市が参加し、スポーツイベントによる連携を進め、参加都市のイベントで都市のPRを行うこととしており、さいたま市がリーダーとなり、活動していく予定でございます。スポーツグループでは、昨年もさいたま市のランニングイベントに東日本連携PRブースを出展していただいておりますが、スポーツグループの各市のスポーツイベントに相互に出展できればというふうを考えております。今後は、各ワーキンググループに参加する都市を増やすことや、ワーキンググループのテーマを増やすことも見据えながら、交流人口の拡大、観光客の回遊促進につながるよう、このワーキンググループの事業を進めていきたいと思っております。

私からの説明は以上となります。この議題につきまして、ご発言等ございましたら挙手をお願いしたいと思います。

それでは会津若松市の室井市長、お願いします。

会津若松市／室井市長

会津若松市でございます。今回、会津若松市は増加しているインバウンドの誘客に向けたワーキンググループのリーダーを務めさせていただくことになりました。インバウンドの課題と言えば、観光の課題という言い方をさせていただきますが、平日・季節を問わず来ていただけるということで観光需要の平準化、それから客単価も新たに増加を見込めるということで我々としては力を入れていきたいということでもあります。

このワーキンググループには同じく海外からの誘客に力を入れておられる秋田市さん、福島市さん、魚沼市さん、氷見市さん、そしてさいたま市さんにご参加をいただいております。今後は宿泊需要や観光消費額の増加に向けてターゲット国の認定やプロモーション事業等、具体的な取組内容を検討してまいりますので、皆様どうぞご協力の程よろしくお願いたします。以上でございます。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。他にはいかがでしょうか？みなかみ町の阿部町長、お願いします。

みなかみ町／阿部町長

みなかみ町はスポーツのワーキンググループに参加をさせていただいております。今年8月に、みなかみの藤原高原、藤原ダム周辺で「第64回サロモン藤原湖マラソン」を開催させていただきました。さいたま市さんにもブース出展をいただいたと思いますが、その節はお世話になり、ありがとうございました。来年は65回ということで、節目の回数の年でもありますので、ぜひさいたま市の市民の皆さんはじめ、出席していただいております自治体の皆さんからぜひ参加をいただければと思っております。自分も5キロに走りまして41位でした。一番短いのが5キロコースで女性の方

は3キロコースもありますので、ぜひにかけていただければと思います。

さいたま市／清水市長

ありがとうございます。他にはいかがでしょうか？

青森市／堀所長

青森市役所でございます。今回、青森市役所につきましても、現在こちらのワーキンググループには残念ながら参加できてない状況ではありますが、こちらのワーキンググループについて非常に楽しみにしておりますし、期待させていたるところでございます。参加都市ではない青森市ですが、是非このワーキンググループの取組については情報共有をいただければと思っております。

また、今回参加都市ではないですが取組に関しては、いろいろな形でご協力させていただきたいと思っておりますし、何か東日本の自治体全体で活動するというようなときには、ぜひ招待していただければ積極的に参加させていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。先ほど3つのテーマの内、SNSのリーダーを務められます、南魚沼市さんはいかがでしょう？

南魚沼市／山口主事

南魚沼市です。SNSグループのリーダーを務めさせていただきます南魚沼市です。SNSグループの方では資料に記載の10都市の皆さんと、連携の部分については、例えばSNSのアカウント同士で他の市町村の皆さんが呟いた内容をリツイートし合うだとか、そういった形での連携も考えているところでございます。また、活用の部分につきましては、各自治体の皆さんがSNSのアカウントの運用に関して抱えている課題点や、こうしたいな、ああしたいという部分を共有した上で何かこのグループとして一つ答えみたいなものが出せたらいいなと思って活動を進めてまいります。ぜひ多くの市町村の皆さんと一緒に活動ができればいいなと思っておりますので、何卒、今後もよろしくお願いいたします。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。他にはいかがでしょうか？それではないようですので、本議題について取りまとめをさせていただきたいと思っております。自治体ごとに注力したいテーマとして「インバウンド」「SNS」「スポーツ」、この3つのワーキンググループを設置しまして、各リーダーを中心に課題の共有や連携した取組の検討を進め、交流人口の拡大、観光客の回遊促進につなげるという方針で本事業を進めさせていただきたいと思っております。また、まだ参加表明がなされていない自治体の皆さんもぜひ積極性にご参加をいただければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。皆様いかがでございますか。賛成の方は挙手をお願いしたいと思います。（賛成多数）

ありがとうございます。賛成多数ということでございました。それでは議題(1)は先ほどのとおり、取りまとめをさせていただきたいと思っております。それでは次の議題に入らせていただきます。

議題(2) 東日本の食材の販路拡大について

さいたま市／清水市長

議題(2)「東日本の食材の販路拡大」について、私からご説明をさせていただきたいと思っております。

はじめに、これまでの食材の販路拡大に向けて行ってきた取組を3つご紹介したいと思います。まず1つ目は「まんてん会津フェア」の開催でございます。「まんてん会津フェア」におきましては、会津若松市様を含めた「会津地域経済循環推進協議会」が実施している事業でございまして、地場産食材の販路拡大を目指して、さいたま市内の飲食店に会津地域の食材を使ったメニューや酒類を1ヶ月間提供していただくイベントとなります。令和4年度は、春夏秋の3回、令和5年度も夏と秋の2回のフェアを開催しまして、毎回15店舗ほどのさいたま市内の飲食店が参加して、会津地域の食材や日本酒を仕入れ、メニューとしてお客さんに提供いたしました。

2つ目は「東日本の食材商談会」の開催でございます。さいたま市では、東日本の食材販路拡大のために、「東日本の

食材商談会」を令和4年度から新たな取組として開催しております。本商談会は、さいたま市内の飲食事業者から、「東日本地域の美味しい食材をいろいろと試してみたい」との声をいただいていることを踏まえ、さいたま市内の飲食事業者を対象に開催しているものでございます。

毎回受託事業者が選定したテーマに合わせた食材が並ぶほか、販路拡大を目指すさいたま市内農家や、東日本各自治体にもご出展をいただいております。令和4年度は秋田県様と会津若松市様にご出展をいただきました。

3つ目は、東日本の特産品をメニューとして取り扱い、また、東日本の特産品の消費拡大に努めております。さいたま市内の飲食店を「まるまるひがしにほんの店」として登録する制度でございます。これは令和2年度に制度を開始して以降、徐々に店舗数は増えてきて、本年9月末時点で125店舗が登録されております。登録店舗に対しては、先ほどご紹介をした食材商談会の情報やまんてん会津フェア参加店舗募集情報の告知を訪問等もしながら集中的に行っているほか、まるまるひがしにほんでのPRイベントの告知、商品リストの情報提供も行っております。商品リストを見ていただき、農産物や特産品、お酒を買いに来館されるケースもでございます。

次に取組の成果についてご紹介をしたいと思います。まず「まんてん会津フェア」につきましては、会津若松市様やJAの職員の方々が飲食店を回って、丁寧に食材の特徴を説明するなどした結果、会津牛や馬刺し、野菜、日本酒の継続取引につながりました。フェアを通じて、継続取引をしている飲食店からは、これまで松阪牛を仕入れていたが、品質に遜色のない会津牛を紹介してもらい、仕入れを切り替えたといった声も頂戴をしております。

商談会につきましても、会津若松市様が出展した際に旬のアスパラガスを地元卸事業者が取扱商品に加えたほか、秋田県様が出展したバイ貝やかづの牛が地元卸事業者や飲食店との継続取引につながるなどの成果が上がってきているところでございます。商談会に参加した飲食店からは、「商談会は地元生産者等と対話できる貴重な機会である」「翌月に店舗で行うフェアの食材選定の参考とさせてもらっている」との声をいただくなど、参加者と出展者双方にとってメリットのある取組と感じております。

今後につきましては、会津若松市様が行っている食材フェアへの支援と東日本の食材商談会は、成果も上がっておりますので、引き続き実施をしてみたいと考えております。興味関心がございましたらぜひご連絡をいただければと思います。

また、販路の拡大について関心を持っていただいている都市の皆様にも、現状や具体的な意向、あるいは新たな取組の検討等につきましても、個別にヒアリング調査を進めさせていただきたいと考えております。さいたま市では、東日本の食材の販路拡大事業を通じて、「フェアを開催しても一時的な取引で終わってしまう」、また、「仮にマッチングに成功しても宅急便で郵送するため送料が負担となり、継続的に取引に至らない」などの現場の声を伺い、東日本地域の物の流通促進には様々な課題があると認識するに至りました。

販路拡大に関心、興味がある都市の中には、本市と同様、首都圏等への物流手段や、物流コストを販路拡大の課題と考えている自治体もあると考えておりますので、ヒアリング結果や物流の「2024年問題」も踏まえて、例えばJR様が始めた新幹線輸送サービス「はこびユン」など新たなサービスの活用と一緒に検討していけたらと考えております。

最後に今年度の「東日本の食材商談会」のスケジュールについてのご案内でございます。今年度はご覧の日程で6回開催することとしておりまして、さいたま市内の飲食店3,500店舗に周知し、集客をしてみたいと思います。先日各都市の皆様には出展案内を送付させていただきました。既にいくつかの自治体様からは出展希望をいただいておりますが、出展に当たりましては、地元事業者との調整、また、食材の旬の時期等を検討の上、各年のご事情に合った時期にお申し込みをいただければと思っております。9月に開催した第1回商談会では、昨年度に引き続き、秋田県様にご出展をいただきました。ぎばさという海藻が成約したほか、カタログやサンプルの要望を複数いただいたと伺っております。ぜひ、地域産品のブランド認定の担当課や、農業、水産業、畜産業の担当課等にも共有をいただきまして、東日本地域の産品の流通がより活発になるような施策にしていければと思っておりますので、よろしく願いいたします。私からの説明は以上でございます。

この議題について、何かご発言等ございましたら、挙手をお願いしたいと思います。それでは会津若松市の室井市長、お願いします。

会津若松市／室井市長

当市の取組の事例をご紹介いただきました。本市において、今ほどさいたま市さんからありました通り、さいたま市の飲食店と「まんてん会津フェア」の取組を昨年度から実施をさせていただいております。おかげさまで、会津地域の米、野菜、馬刺しを含めた肉類など生産者との常時取引につながってきている状況であります。今年の夏のフェアまで約320万円の実績となっております。今回さいたま市様の主導で東日本地域の取組に拡大されるとのことです。参加店舗の拡大が更なるビジネスチャンスの拡大に繋がっていくことを期待しております。引き続きご支援、そして皆様のご参加、よろしくをお願いしたいと思います。以上でございます。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。他にはいかがでしょうか？それでは新潟市の関川部長、お願いします。

新潟市／関川部長

本取組につきましては、さいたま市様はじめ関係自治体の皆様ご尽力に感謝をするところでございます。また、各都市の本事業につきましては各都市の食材の販路拡大プロモーションに貢献する非常に良い取組であると認識しておりますが、これまで本市につきましてはなかなか思うような活動ができなかったところでございます。しかしながら本市にもお米や枝豆等々、あとは西洋梨であるルレクチェといった農産物から、のどぐろや南蛮工ビ等々の海産物を始め様々な食材がございますので、こうした食材のプロモーションを担当している課とぜひ情報共有を、またどういった形で出展できるかといったところを検討して参りたいと思っておりますので、引き続きよろしくをお願いしたいと思います。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。他にはいかがでしょうか？長野市の中村部長、お願いします。

長野市／中村部長

長野市では若者の起業家が創作したスイーツなどの販売を応援するため、地元の百貨店と連携した「ナガノミライマルシェ」を定期的に開催しているほか、首都圏での観光PRを兼ねた展示会において、特産品の販売を進めております。特に市内にはリンゴや桃、ブドウなど、全国的にも知られている果樹をはじめ、そばやおやきといった地域の食材を生かした食べ物というものがたくさんあります。今後、この東日本の食材の販路拡大として、まるまるひがしにほんを活用した新たな顧客の獲得や、「まんてん会津フェア」のような消費者の顔が見える販路開拓というのは、食材の継続的な取引などによる効果が期待できますので、機会があればぜひ食材フェアや商談会に積極的に参加してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。その他発言等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか？

なければ本議題につきまして取りまとめをさせていただきたいと思っております。東日本各地の食材をメニューとして取り扱うフェアの開催や、東日本の食材商談会を積極的に活用して、各都市の食材の販路拡大と継続的に取引につなげる。また、「2024年問題」も見据え、新幹線輸送等の新たなサービス、手段の活用についても検討するという方針で本事業を進めさせていただきたいと思っておりますが、皆様いかがでございますか？賛成の方は挙手をお願いしたいと思います。（賛成多数）

ありがとうございました。賛成多数ということで進めさせていただきたいと思っております。本日予定をされました議題は全て終了をいたしました。

「4.報告事項」

報告事項(1) 広報紙連携について

さいたま市／清水市長

続きまして、次第 4 報告事項に移らせていただきます。報告事項につきましては、昨年度のフォーラム以降に行った連携事業について、各都市よりご報告をいただきたいと思っております。はじめに報告事項(1)「広報紙連携」について、福井市の東村市長からご報告をお願いしたいと思います。

福井市／東村市長

福井市からはまず、広報紙での連携について報告させていただきます。この事業は、沿線自治体が連携して広報紙面に観光情報などを相互に掲載するものです。今年度は、会津若松市、上田市、宇都宮市、さいたま市、みなかみ町、南魚沼市、福井市の 7 都市で取り組んでいます。令和 6 年度以降は参加自治体の情報を掲載したデジタル版の冊子を作成し、その冊子の QR コードを、各自治体の広報紙面に掲載する形へと変更を予定しております。今年度以上に多くの自治体から参加希望をいただいております。連携の効果をさらに高めてまいりたいと考えております。私からの説明は以上でございます。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。広報紙の連携は非常に効果があると各自治体の住民の皆さんに 1 人 1 人に届けられるというところもありますのでぜひ積極的に参加をしたいという方がありましたら、またご連絡をいただきたいと思っております。今この件について何かご発言等ございましたら挙手をもってお願いしたいと思います。

それではみなかみ町の阿部町長、お願いします。

みなかみ町／阿部町長

みなかみ町です。ありがとうございます。実際にみなかみ町は「バトンをつなぐ広報紙リレー」ということで、「広報みなかみ」という全戸に配布しているいわゆる町政の活動を町民の皆さんにお知らせする機関紙を毎月発行していますが、その 5 月号に会津若松市の紙面を半分使用させていただきました。また、9 月にはここさいたま市の国際芸術祭の PR 宣伝をみなかみの広報に宣伝をさせていただきました。そして 10 月号、今月号に長野県上田市の真田祭の開催のご案内、このお祭りには私も長野県と群馬県は真田でいろいろ沼田市を含めて交流がございますので参加をさせていただく予定となっております。こういう形でいろいろな情報をみなかみの町民の皆さんにも親しく知ってもらおうという機会を提供させていただいております。以上です。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。さいたま市でも今月の 8 日から 12 月 10 日まで開催しております「さいたま国際芸術祭 2023」のご案内を各都市の広報紙に掲載していただきました。令和 6 年度からは、QR コードを使用した連携に移行していくということでございますが、本市も引き続き参加をしたいと思っておりますのでよろしくお願い申し上げます。その他ご意見等ございましたら、よろしいでしょうか？

それではないようですので、ここで 10 分間の休憩を取らせていただきたいと思います。15 時 15 分に再開したいと思います。

なお、函館市の大泉市長は他の公務のためここで退席となります。大泉市長、ありがとうございました。休憩以降は、経済部の氣田部長に会議の場に着いていただきたいと思っております。氣田部長よろしく願いいたします。それでは休憩していただければと思います。ありがとうございます。

報告事項(2)「戦国の城」「安らぎの景色」をテーマにした連携について

さいたま市／清水市長

続きまして、報告事項(2)「戦国の城、安らぎの景色をテーマとした連携」について、福井市の東村市長からご報告をお願いしたいと思います。

福井市／東村市長

昨年度のフォーラムにおいて提案した「戦国の城、安らぎの景色をテーマにした連携」について報告させていただきます。

す。この事業は、沿線の参加都市との連携事業により、相互の交流人口の拡大を図ることを目的としています。事業内容ですが、みなかみ町、さいたま市、金沢市、福井市の4市町がそれぞれ戦国の城、安らぎの景色を共通テーマとするロケットカードの配布を行い、カード収集を目的とした観光客による周遊を促すものです。ロケットカードは全国の観光地を統一フォーマットで紹介するもので、認知度も高く、全国129ヶ所の観光地で入手が可能です。

東日本連携・創生フォーラムとコラボして制作した4市町のロケットカードは今年10月13日から、各市町の所定の施設で配布を開始しました。カードの内容はみなかみ町の谷川岳一ノ倉沢、さいたま市のさいたま市大宮盆栽美術館、金沢市の武家屋敷寺島蔵人邸と長町武家屋敷跡界隈、福井市の一乗谷城、一乗谷朝倉氏庭園、養浩館庭園、越前海岸の水仙畑の計8枚です。

こちらが今回配布を開始した8枚のロケットカードで、各カードの右下に東日本連携・創生フォーラムの共通ロゴが入っています。今後、この連携事業にご参加いただく自治体の皆様が増えることで、カード収集の魅力と周遊の効果がさらに高まると考えておりますので、ご参加に向けた検討をいただきますようお願いいたします。私からの説明は以上でございます。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。本件につきまして、ご発言等ございましたら挙手をお願いしたいと思います。

みなかみ町の阿部町長、お願いします。

みなかみ町／阿部町長

福井市の東村市長、ありがとうございました。前段ご紹介ありましたようにみなかみ町は百名山の谷川岳一ノ倉沢のカードを配布しております。実績は10月13日から配布を開始して、25日までの間に150枚を配布済みという報告を受けております。これからも来た方には積極的に配布していただきますとともに多くの自治体の皆さんにもぜひ参加をお願いしたいと思っております。よろしく願い申し上げます。以上です。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。ほかにはいかがでしょうか？盛岡市の藤谷課長、いかがでしょうか？

盛岡市／藤谷課長

盛岡市でございます。本市では令和4年度から新設された盛岡城復元調査推進室におきまして、歴史的建造物の復元の根拠となる歴史的資料の研究を進めているところでございます。既に絵図のような写しなどは見つかっておりますが、いわゆる設計図のようなものは現時点で見つかっていないということで、引き続き情報提供、それから調査を続けているところでございます。ただし石垣修復工事としまして、現在積み直しを行っているところでありまして、修復工事は来年度中に完了するという予定でございます。そのような中でまた復元を目指す自治体間での情報交換というのも始めてありまして、そういった中で歴史的遺産を活用した連携事業につきましては、今後検討をさせていただきたいというふうに思っております。以上でございます。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。さいたま市ではこのような先ほどもご紹介いただきましたこういったカードを作らせていただきました。さいたま市はお城ではなくて安らぎの景色ということで、大宮盆栽美術館のカードを作成いたしました。盆栽美術館の方に来ていただきますとこのカードを差し上げることになっておりますので、ぜひこのカードのコレクションもお楽しみいただければと思っております。

報告事項(3) 東日本ウェブプロモーション及び共同PRについて

さいたま市／清水市長

続きまして、報告事項(3)「東日本 Web プロモーション及び共同PR」につきまして、こちらはさいたま市から報告をさせていただきます。

さいたま市からはつなぐ旅、東日本トラベルガイドの基本情報についてお話をしたいと思います。掲載しております。コンテンツは大きくトピックス記事、連載記事、特集記事、YouTube 生配信となっております。トピックス記事につきましては、公式 X (旧 Twitter) とともに連携しております、SNS を使用して、さらに情報の拡散をしております。フォロワーの数は令和 5 年 3 月 31 日では 2 万 3,632 人に大幅にアップをしております。YouTube につきましては、角川アスキー総合研究所様の YouTube チャンネル「アスキー」、この「アスキー」というのは登録者数が約 14 万人いらっしゃるようですが、これをプラットフォームに各都市の関係者が出演しながら、観光 PR の生配信番組を行うものでございます。令和 4 年度に 4 回配信をさせていただきまして、各回約 3 万から 5 万回再生以上となっております。今年の 7 月 11 日には「夏祭り」をテーマとして宇都宮市様、郡山市様、盛岡市様、山形市様にご出演をいただき、4 万 8 千回以上再生されております。各回ともに視聴者の方々には、各都市の魅力が伝わったと感じております。それではここで盛岡市様の出演映像を 1 分程度ご覧いただければと思います。(盛岡市出演映像放映)

以上でございますが、次回の放送は 11 月末を予定しております。「グルメとお酒」をテーマとしまして、福島市様、会津若松市様、南魚沼市様、氷見市様にご出演をする予定でございますので、ぜひご覧いただきたいと思います。今後も 2 月に放送予定でございますので、ご出演を検討いただければと思います。報告は以上でございます。

続きまして、連携都市間の取組についてでございます。まずは共同 PR からご説明をしたいと思います。昨年度さいたま市ランニングイベントにおきまして、東日本連携都市の出展エリアを確保しまして、実際に希望自治体にご出展をいただき、物産の販売や体験コーナー、都市 PR を行っていただきました。当日は福島市様、会津若松市様、みなかみ町様、氷見市様、福井市様にご出展をいただきまして、当日は多くの来場者にお越しをいただき、大盛況となりました。また、今年度の取組としまして、本市におきましては約 4 年ぶりにフルマラソンを含む「さいたまマラソン」が開催される運びとなりました。今回初の試みといたしまして、マラソンコース上に設置されます給食ブースの一部を東日本連携都市給食エリアとして、ランナーへの食べ物の提供を予定しております。また、昨年同様に東日本連携ブースの出展を予定しております。皆様と一緒に東日本連携共同 PR を行っていただければと考えております。今年度もみなかみ町様のマラソン大会、会津若松市様の音楽フェス、函館市様のグルメイベントにお声がけをいただき、本市が出展をさせていただきました。皆様の自治体で開催されるイベントに東日本連携都市が出展できる余地がありましたら、ぜひ各都市にお声がけいただければと思います。

続きまして、東日本連携 e スポーツイベントについてでございます。昨年の 12 月まるまるひがしにほんにおきまして、東日本連携 e スポーツイベントを開催しました。内容としましては、東日本連携地域の OB を含むプロサッカー選手やプロ e スポーツ選手により「eFootball」というサッカーゲームのトーナメント戦を始め、e スポーツに関する産・学・官によるパネルディスカッション、また、太鼓の達人などの e スポーツ体験ブースの設置、各地域の物産品の販売等を行わせていただきました。

東日本連携地域のプロサッカーチームでございますが、いわてグルージャ盛岡、モンテディオ山形、栃木 SC、ザスパクサツ群馬、浦和レッズ、大宮アルディージャに出演をいただきました。東日本連携の e スポーツイベントは、今年度も実施をする予定でございます。12 月にオンライン予選をして、1 月にオフライン決勝を行う予定でございます。またご協力を依頼することもあるかと思いますが、その際にはぜひご協力をお願いいたします。説明は以上となります。

本件につきまして、ご発言等ございましたら、挙手をお願いいたします。盛岡市の藤谷課長、お願いします。

盛岡市／藤谷課長

盛岡市でございます。先ほどご紹介いただきました通り YouTube の生配信ということで令和 4 年 9 月の第 5 回に続きまして、令和 5 年 7 月の第 8 回ということで出演させていただいたところでございます。再生回数につきましては 4 万 8 千回ということで多くの方にご覧いただいたということでございます。昨年につきましては市の職員が出演という形でしたが、前回につきましてはミスさんさ踊りということで PR の仕方を若干工夫しながら出演させていただいたということでございます。本番の祭りにおきましてもコロナ終わりということも併せて、この PR も含めて多くの

方に盛岡にお越しいただいたということで大変感謝申し上げているところでございます。以上でございます。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。続いて新潟市の関川部長、お願いします。

新潟市／関川部長

今ほど清水市長様のご報告にもございましたけれども、ウェブサイトの方でございますが、ページビュー数も非常に高く効果を持つ媒体であると認識しております。本市につきましても6月の特集記事でご紹介をいただいたところでございますが、本市に限らないとは思いますが、効果的な情報発信が非常に課題となっております。また今、休憩中にも、市議会の議員さんから電話で観光の情報発信はどうなっているのかということで、ちょうど問い合わせをいただいたところでございますが、今後もぜひ情報共有、情報発信のツールを活用させていただきたいと考えておりますので、よろしくおしいたいと思います。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。その他何かございましたらよろしくおしいします。よろしいでしょうか。

報告事項(4) プロサッカーチームと連携した会津ブランド商品の開発・販売について

さいたま市／清水市長

それでは続きまして報告事項(4)「プロサッカーチームと連携した会津ブランド商品の開発・販売」について、会津若松市の室井市長からご報告をお願いいたします。

会津若松市／室井市長

本市からはプロサッカーチームと連携した会津ブランド商品の開発、具体的には赤べこなんですけど、報告をさせていただきます。現在首都圏での会津ブランド認知向上を図るため、さいたま市様にお力添えをいただきまして、Jリーグクラブチームの浦和レッズ様と会津地域を代表する民芸品赤べこのコラボ商品の開発・販売に向けて取り組んでおります。この商品は浦和レッズ様の公式キャラクターでありますレディアをイメージした完全オリジナルの赤べことなっております。最近赤べこじゃなくなっているんですけど、その実物サンプルを持参しておりますので、お見せしたいと思っております。実際はこのように背中部分にレッズ様のエンブレム、これからシールが貼られるようになりますが、商品は来週中に納品予定となっております11月9日から12日、本市とさいたま市の協定を仲介していただいたイオン様の浦和美園店、また、例年会津フェスタを開催させていただいておりますイオンレイクタウン店において、合計100個限定販売ということで販売をさせていただく予定でございます。

マツコ・デラックスさんが非常に好意的に赤べこを取り扱ってくれまして、何度もテレビに出ていただいております。ありがとうございます。以上です。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。本件についてご発言ございましたらお願いします。それでは青森市の堀所長、お願いします。

青森市／堀所長

青森市でございます。今お話を聞いていた赤べこも拝見しましたが非常に魅力ある、とても面白い取組だなと思っておりました。各自治体様々なプロアマ問わず様々なスポーツチームがあると思います。スポーツチームはやはりファン獲得のために非常に苦労しています。また、自治体も特産品の販売であったり、シティプロモーションに非常に苦労しています。ここは自治体の枠を超えて連携することができたら非常に可能性の高い取組なのかなと思って伺っております。ぜひ参考にさせていただきます。ありがとうございます。

さいたま市／清水市長

ありがとうございます。続きまして長野市の中村部長、お願いします。

長野市／中村部長

長野市は 1998 年の長野オリンピック・パラリンピックの開催を契機にスポーツ施設やコンベンション施設が整備されており、市民のスポーツ意欲も非常に高いまちであります。また、長野市長の荻原健司はスキーノルディック複合のオリンピックゴールドメダリストでもありますので、スポーツを通じた地域の活性化というものに非常に力を入れており、市の政策として、スポーツを軸としたまちづくりを推進しております。

現在市内にはサッカー、バスケット、フットサルなど 4 つのプロスポーツチームがあり、まちのにぎわいづくりに欠かせない存在となっております。特に県内のプロサッカーチーム同士の試合となる信州ダービーは、毎年大きな盛り上がりとなっております。このように、プロスポーツチームの連携による商品開発というものは、チームのファンの満足度向上のみならず、新たなファンの獲得にもつながることから、魅力的な商品の開発をプロスポーツチームと連携して進め、チームブランドの付加価値向上につなげていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。さいたま市には浦和レッズと大宮アルディージャという 2 つの J リーグのチームがございいますが、両チームとも東日本の連携の趣旨をご理解いただいております。各都市の皆様におかれましては、試合の日の PR など、サッカーチームとの連携についても、ぜひご検討いただければと思います。かつてツエーゲン金沢さんが来たとき、あるいは大宮アルディージャが金沢に行ったときには、いろいろ交流をさせていただいたり、あるいは市長さんをはじめ、市民の皆さんにご出迎えていただいて交流をしたりというような事業もありましたので、またそういうことなども含めて、何かいろいろな連携の一つのコンテンツということでやれたら面白いのではないかなと思います。

報告事項(5) まるまるひがしにほんの利用状況について

さいたま市／清水市長

続きまして、報告事項(5)「まるまるひがしにほんの利用状況」について、さいたま市から報告をしたいと思っております。まず、まるまるひがしにほんの利用実績でございますが、令和 4 年度の年間来場者数は約 91 万人になります。毎週月曜日を休館日としたために稼働日数については減少しておりますが、本日出席の連携都市をはじめ、多くの自治体の皆様にご活用いただいております。年間来館者数、1 日あたり平均来館者数はともに過去最高になりました。また、ビジネスマッチングの件数につきましても、議題でご紹介した食材商談会を中心に、657 件のマッチングが行われまして、これも過去最高の件数ということになりました。今年度は、既に三条市様、みなかみ町様、福島市様、山形市様、秋田市様にご利用いただきまして、氷見市様、福井様、函館市様にも今後のご予約をいただいております。ありがとうございます。現在の施設の予約状況については、年度内の週末は徐々に埋まってきておりますので、冬や来年の春に向けたシティプロモーションを検討される場合には、ぜひお早めにご相談いただければと思います。

次にまるまるひがしにほんの特徴的な活用事例をご紹介します。魚沼市様が開催した「うおぬま“素のチカラ”物産展」では特産品であります、ゆりの切花プレゼント企画を実施いたしました。開館前から行列ができるほど人気で、当日は内田市長にも駆けつけていただき、大変盛り上げていただきました。また、北海道平取町様が開催しました、「二風谷アイヌ工芸品とびらとりの魅力」では、昨年度に引き続き、アイヌの工芸品を中心とした出展でございます。アイヌ工芸家が常駐をし、来館者と積極的に交流をいただきました。平取町様につきましては、アイヌ工芸家が SNS で情報発信をして、それを漫画「ゴールデンカムイ」の作者がリツイートをしたことで想定を上回る来館者が訪れまして、お持ちいただいた特産品はほぼ完売、高額な工芸品も多数売れまして、昨年度記録した館内の平日・休日の施設売上記録を更新したという状況になりました。両自治体とも食材食品以外の特産品や工芸品の PR に注力した事例になりまして、各自治体におきましても、食品食材以外で積極的に PR したいものがございましたら、ぜひ今後の参考としていただければと思っております。

次に、みなかみ町様の活用事例をご紹介します。みなかみ町様では、昨年 2 回、まるまるひがしにほんを活用しまして、シティプロモーションを行っていただきました。夏の味覚展では、さくらんぼやブルーベリーなどの旬のみなかみ産フルーツをはじめとする農産物の販売を、また、秋の味覚展ではクラフトビールや、旬のリンゴや各種キノ

コに加えまして、きのこたっぷりのきのこ汁の限定販売を行っていただきました。当日は、積極的にフルーツの試食、ビールの試飲を実施しながら販売をしていただいたことで、販売促進につながり、多くの方が訪れる大変盛況の企画となりました。出展の際、試飲又は試食を実施しながら販売いただくことで売上にも大きく差が出てまいりますので、各自治体におかれましても、ぜひ試食又は試飲も交えたシティプロモーションをご検討いただければと思います。

最後に、福井県様による長期利用の事例をご紹介します。福井県様では、来年3月の北陸新幹線福井開業を見据えまして、まるまるひがしにほんをほぼ1ヶ月間貸し切っていただきまして、大々的なPRイベントとして

「LIMITED STORE 291 in 大宮」というのを開催していただきました。期間中は週替わりで、水羊羹やカニなどのフェアを開催したほか、毎週カニめし弁当や焼き鯖寿司を数量限定で販売し、行列ができるほどの賑わいとなりました。今回は長期間のイベントだったこともあり、また食べたい、また買いたいというリピーターが数多く訪れたと伺っております。まるまるひがしにほんは4日以上利用すると利用料金が割安となる料金体系としておりますので、その点も踏まえまして、今後まるまるひがしにほんの利用をご検討いただきたいと思います。

まるまるひがしにほんの利用状況についての報告は以上でございます。

本件についてご発言等ありましたら挙手をお願いします。それではみなかみ町の阿部町長、お願いします。

みなかみ町／阿部町長

ありがとうございます。みなかみ町も去年、そして本年と大変有効に利用させていただいております。やはり先ほどスライドでも紹介しましたように時期のものを約1時間もかからないうちに、輸送できるということで大変有利な点がございます。その辺を有効に利用させていただいております。昨年11月に私は町長に就任してから初めてその現場を視察ということで大宮に伺いまして、日曜日ちょうど駅を降りたらまだ皆さん記憶に新しい、火災が駅前で発生しておりまして、そこに規制線が張られていまして、1日中止ということでした。

でもその前の土曜日には1日5,000人も市民の方にお出かけいただいていたということで、大変人口が多いところはやっぱり違うんだなということをつくづく本当に感謝をしております。本年につきまして7月の8日、9日、そして12月に2日、3日と予定をしておりますので、ぜひさいたま市民の多くの方々にお出かけいただければと思っております。ただ今年4月の冷害でリンゴが先ほど青森市の方ともお話ししましたが、非常に不作で量がどのくらい持つてこられるかというのはちょっと不透明なところがあります。しかしながらいろいろ加工品とかもありますので、ぜひみなかみのものを、さいたまの皆さんにご賞味いただければ大変ありがたいと思っていますので、また今後ともよろしく願いしたいと思います。以上です。

さいたま市／清水市長

ありがとうございます。続きまして、盛岡市の藤谷課長、お願いします。

盛岡市／藤谷課長

盛岡市でございます。本市では令和4年12月16日から18日までの3日間にわたりまして「盛岡八幡平広域観光推進協議会」の主催により、岩手と秋田の観光と物産展「モリハチ祭り in まるまるひがしにほん」ということを開催させていただいたところでございます。当日は多くの方にお越しいただきまして大盛況ということでございまして、特産品のみならず観光のPRもできたということで、大変感謝申し上げます。今後につきましても、他の事業で利用の可能性も含めて検討してまいりたいと思っております。以上でございます。

さいたま市／清水市長

ありがとうございます。続きまして、福島市の小松室長、お願いします。

福島市／小松室長

今年も昨年に引き続きまして「フルーツ&グルメフェア」で大変お世話になりました。経験豊富なスタッフの皆さんから陳列、POP作成につきまして、手厚いサポートいただきまして、効果的なプロモーションにつながりました。本当にどうもありがとうございました。またよろしく申し上げます。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。続きまして、氷見市の篠田副市長、お願いします。

氷見市／篠田副市長

氷見市は昨年初めてまるまるひがしにほんに出展させていただきましたが、今年も11月17日金曜日から3日間出展いたします。氷見では何でもかんでも昆布締めにしちゃう食文化がありますが、その昆布締めですとか、あるいはその様々な工夫を凝らした水産加工のヒット商品や、そしてテレビ番組のケンミンショーでも大いに評価をいただきました、日本三大手延べうどんの一つの氷見うどん、そして鱈出汁が特徴の氷見カレーなど、いずれも氷見ならではのおすすめの特産品の販売を通じて、氷見市の食の魅力を発信いたします。お近くにお越しの際はぜひともお寄りいただければと思います。

さいたま市／清水市長

ありがとうございます。思わずよだれがでそうな感じになりますね。続きまして、函館市の氣田部長、お願いします。

函館市／氣田部長

改めまして函館市経済部長の氣田でございます。函館市におきましては、令和元年度から合計4回にわたりまして、函館物産展を開催させていただいております。いずれもたくさんの方にご来場いただき、イベントの実施の効果は高いと感じております。今年の12月に5回目の物産展の開催を予定してございますが、今年特にコロナ5類移行後、全国各地で物産展を開催させていただいております。そうした中で北海道・函館となると、やはり海産物などということも多くのお客様が、待っていました、楽しみにしていましたということで声をかけていただいております。非常に我々としても嬉しく思っております。12月の物産展に向けて詳細については現在協議中でございますが、多くの方々に喜んでいただけるような内容を企画いたしまして本物産展を通じた函館市の食の認知度向上や特産物の販路拡大、さらには直接函館に来て食べていただけるよう取り組んでまいりたいと考えております。以上でございます。

さいたま市／清水市長

ありがとうございます。ぜひ美味しい海産物をよろしくお願ひしたいと思います。続きまして、長野市の中村部長、お願いします。

長野市／中村部長

長野市ではこれまでまるまるひがしにほんへの出展実績というものはございませんが、今年現地を拝見させていただきました。非常に通行量も多く、お店の中を拝見させていただいて多くのお客様が来店していらっしゃいました。長野市はこの時期ですと、リンゴでありますとか、ブドウというものが非常に美味しい時期となっております。そういったものを短期間に新鮮なうちに運べるという非常に大きなメリットがございますので、今後私どももぜひ機会を通じましてこちらのまるまるひがしにほんを利用させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。ぜひ長野の季節の美味しい果物を食べたいですね。よろしくお願ひします。

報告事項(6) 東日本連携推進協議会について

さいたま市／清水市長

続きまして、報告事項(6)「東日本連携推進協議会」について、代表幹事でございます、株式会社高島屋大宮店店長、倉橋様からご報告をお願いいたします。

東日本連携推進協議会／倉橋代表幹事

それでは、報告事項(6)「東日本連携推進協議会」の取組についてご説明をいたします。

まずはじめに、東日本連携推進協議会についてご紹介をさせていただきます。我々は大宮駅周辺の大型商業施設8者が連携し、東日本連携を民間主体で推進する組織で、2016年の発足以降今年で8年目を迎えます。東日本地域との連携、交流を促進することで、大宮のまちの賑わい創出と東日本地域の振興を目的に活動しております。

令和4年度につきましては、協議会企業が共同で実施するプロモーション事業、東日本に関連した催事を開催いたしま

したので、本日はその活動を報告させていただきます。

まず共同プロモーション事業としましては、謎を解きながら、大宮駅周辺のまち歩きを楽しんでもらう「大宮からの挑戦状」を開催しております。去年で5回目の開催という形になりました。謎解きをクリアした方には、抽選で東日本の名産品をプレゼントしており、昨年度は函館市のカレー、みなかみ町の梅干し、ふりかけ、それと魚沼市のコシヒカリなどをご用意させていただきました。事前に市内小学校等に告知をしていることもあり、小学生とご家族を中心とした延べ2,187人の参加をいただき、大変盛況のイベントとなりました。

次に、東日本に関連した催事「つながろう東日本応援フェア」についてご紹介いたします。東日本応援フェアでは、謎解きイベントの期間に合わせ、協議会各店舗が東日本地域にちなんだ催事を開催しております。大宮高島屋では、「東日本グルメフェア」を開催。東日本各地から集めた旬の食材や地域を代表するグルメを店頭でご紹介し、東日本の食を楽しんでいただくことで、旅した気分を来店者に味わってもらうことができました。

そごう大宮店では、東北6県の特産品を中心とした物産展「東日本うまいものストリート」を開催。そごう大宮店開店35周年の記念企画として、先着で青森県産リンゴをプレゼントするなど、大変好評を得ました。

パレスホテル大宮では、ホテル内の各レストランにおいて、宮城県の名物や食材を使用した料理を提供する「宮城フェア」を開催し、2ヶ月間にわたり、宮城県の豊富な食材や食文化をアピールいたしました。

大宮駅西口の駅前ビル大宮アルシェでは、青森県弘前市のリンゴ、サンふじの産地直送販売を新幹線からも見える大型エキサイトビジョンを活用し、大々的にPRをしながら実施をいたしました。

ハンズ大宮店では、開業40周年を迎えた上越新幹線と絡め「トレインマーケット」を開催し、鉄道のまち大宮を来店者にPRしました。

マルイ大宮店ではSDGsをテーマとした普及啓発イベント「N・E・Oフェス」を開催し、東日本連携都市を中心としたSDGs未来都市の取組を紹介するパネル展示を行いました。

最後に今年度の取組として、昨年度と同様、11月1日から11月30日までの1ヶ月間、先ほど紹介した謎解きイベント「大宮からの挑戦状」の第6弾と、それと連動する形で、各店舗で東日本をテーマにした「つながろう東日本応援フェア」を開催いたします。今年度は、来年3月の北陸新幹線金沢〜敦賀開業を踏まえ、「福井」をテーマに開催いたしますが、今後もこのような取組を通じて、東日本地域の皆様とのネットワークをより強固なものとし、東日本地域との連携、交流を促進してまいりたいと考えております。引き続きご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。以上でございます。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。本件についてご発言等ございましたら挙手をお願いします。盛岡市の藤谷課長、お願いします。

盛岡市／藤谷課長

盛岡市でございますが、先ほどまるまるひがしにほんというところでお話させていただきましたとおり、「盛岡八幡平広域観光推進協議会」等、本市に関係する様々な協議会が存在しておりまして、盛岡市単独だけではなく周辺の自治体との連携ということでいろんな取組をしているところでございます。東日本連携推進協議会をはじめ、多くの自治体、事業者の方々の取組をぜひ参考にさせていただいて、今後検討してまいりたいというふうに思っております。以上でございます。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。協議会の皆様には、東日本をPRする取組を積極的に行っていただいております。感謝と御礼を申し上げたいと思います。また、今回は北陸新幹線の延伸を記念しまして、今回は「福井」をテーマとしたイベントをするということでございます。私としても、市内の子供たちに喜んでいただけるのではないかとということで、大変期待をしているところでございます。その他何かございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか？それではないようでございますので次に移らせていただきます。

「5.情報共有」

情報共有(1) 北陸新幹線福井開業に向けた大規模イベント等の紹介

さいたま市／清水市長

次第5 情報共有でございます。こちら連携事業以外で、本日ご出席の皆様にも広く周知したいイベントや取組の発信をしていただく場となっております。まずはじめに情報共有(1)「北陸新幹線福井開業に向けた大規模イベント等の紹介」について、福井市東村市長よりご説明をお願いしたいと思います。

福井市／東村市長

福井市からは北陸新幹線福井開業に向けたイベント等についてご紹介させていただきます。

福井市では、いよいよ3月16日に迫った北陸新幹線福井開業に向けて、福井の認知度向上、観光誘客につながるよう、各種取組を進めております。まず、開業記念として位置付けられている本市を舞台とした映画「おしよりん」について紹介させていただきます。福井を代表する産業である眼鏡をテーマとした家族愛と感動の物語となっております。11月3日から全国公開になります。ぜひPRをお願いします。

続いて、北陸新幹線福井開業記念イベントをご紹介いたします。福井らしいおもてなしの企画として、福井に來られる方への歓迎振る舞いをはじめ、恐竜のイベントなど様々な準備を進めております。ぜひお越しください。

次に、全国の都道府県で最後のフルマラソン大会となる「ふくい桜マラソン2024」を紹介いたします。新幹線開業を記念し、開業後すぐの桜の時期に行われるこのマラソンは、全国初の新幹線と道路の一体橋である新九頭竜橋を通るコースとなっており、新幹線との並走や桜と福井の名所を堪能できます。まだランナーを募集しておりますので、ぜひご参加を、そしてPRをお願いいたします。私からの説明は以上です。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。本件につきましてご意見・ご発言等ございましたら、挙手をお願いします。それでは長野市の中村部長、お願いします。

長野市／中村部長

長野市では、福井市をはじめ、北陸新幹線沿線都市と「集客プロモーションパートナー都市協定」というものを結び、広域的な観光振興というものを進めております。今回の北陸新幹線福井開業に合わせ、市内全戸配布の広報紙により、そのイベント情報ですとか、福井市の観光情報、桜まつりの観光情報など掲載いたしまして、この新幹線に合わせた福井市の盛り上がりというものを応援してまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

さいたま市／清水市長

ありがとうございました。私も4月に福井市の東村市長を訪問させていただきました。食や伝統文化をはじめ、魅力的なコンテンツがたくさんあることを改めて実感をしたところでございます。本市としても、多くの方にこの福井市の魅力を知っていただけるよう協力をさせていただきたいと思っております。また、ぜひ福井市の皆さんにも、さいたま市に訪れていただきまして、さいたま市の魅力に触れていただければと思っております。どうぞよろしく願いいたします。その他ご発言があればお願いします。よろしいでしょうか？

情報共有(2) 三陸・常磐ものネットワークへの参画

さいたま市／清水市長

続きまして、情報共有(2)「三陸・常磐ものネットワークへの参画」について、さいたま市から報告をさせていただきます。

はじめに「三陸・常磐ものネットワーク」についてですが、東日本大震災で深刻な被害を受けた三陸・常磐地域の水産業は、ALPS処理水の放出による風評の懸念等の様々な問題に直面していることから、風評を抑制、払拭することに加えて、三陸・常磐地域の水産業等の本格的な復興や、持続的な発展を後押しするために経済産業省が復興庁、農林水産省とともに、三陸・常磐もの魅力を発信し、消費拡大を図る官民連携の枠組みとして、令和4年12月に立ち

上げられたプロジェクトでございます。令和5年10月2日現在で、全国の自治体や企業、団体等、1,078者が参画をしております。本市もネットワークの趣旨に賛同しまして、今年の1月にネットワークに参加をさせていただいて以来、三陸・常磐地域の消費拡大に取り組んでおります。3月にはまるまるひがしにほんにおきまして、岩手県と宮城県の水産加工品を取り揃えた「岩手・宮城フェア」を開催しました。サバ刺しや牡蠣キムチ等の人気商品が完売するなど連日多くの方で賑わいました。また、今月には埼玉県魚市場様のご協力のもとで開催をいたしました「北海道・東北水産フェア」におきまして、関東経済産業局の太田局長とともに常磐もののヒラメや北海道のホタテなどを試食しまして、その美味しさをPRさせていただきました。本市では今後も処理水放水に伴う風評被害を払拭していくために、三陸・常磐地域の食の美味しさを積極的に発信してまいりたいと思っております。連携各都市の皆様におかれましても、ぜひこのネットワークにご参画をいただき、三陸・常磐ものの魅力発信また消費拡大と一緒に取り組んでいただければと考えております。ご検討のほどよろしくお願いいたします。

「6.総評～7.閉会」

さいたま市／清水市長

以上で、本日の議事は全て終了いたしました。長時間にわたりましてご参加をいただき誠にありがとうございました。本日の二つの議題、まず議題(1)「ワーキンググループの設置」につきましては、自治体ごとに注力したいテーマとして、「インバウンド」「SNS」「スポーツ」の3つのワーキンググループを設置し、各リーダーを中心に、課題の共有や連携した取組の検討を進め、交流人口の拡大、観光客の回遊促進につなげるという方針で事業を進めていくことについて、また、議題(2)「東日本の食材の販路拡大」につきましては、東日本各地の食材をメニューとして取り扱うフェアの開催や東日本の食材商談会の場を積極的に活用し、各都市の食材の販路拡大と継続取引につなげていく。また、「2024年問題」も見据えて、新幹線輸送等の新たなサービス・手段の活用についても検討するという方針で事業を進めていくことについて、それぞれご賛同をいただいたところでございます。今後はこれらの方針に基づきまして、皆様と連携事業を実施していければと思っておりますので、ぜひご協力のほどよろしくお願い申し上げます。最後に全体を通じまして、ご意見、ご質問等がございましたら挙手をお願いしたいと思います。いかがでしょうか？よろしいですか。無いようでございますので、皆様には円滑な議事進行にご協力をいただきまして、全ての議事が終了いたしました。活発なご議論をいただきまして本当にありがとうございます。

(終了)